

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	論理回路学演習		
英文授業科目名	Exercises in Logical Circuits		
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	高橋 治久		
居室	総合研究棟827		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takahasi@ice.uec.ac.jp	http://www.htlab.ice.uec.ac.jp/Jpn/index.html

【主題および達成目標】
論理回路学で学んだ内容に関する演習問題を解き，授業内容の理解を徹底する。

【前もって履修しておくべき科目】
離散数学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
プログラミング基礎

【教科書等】
論理回路学と同じテキストを使う

【授業内容とその進め方】
<p>授業の最初に20分程度の説明を行う。その内容に関して演習問題を出し，最後に解答を行う。説明では，問題を例題として解いてみせる場合もある。問題は提出するものとレポート課題がある。</p> <p>授業に沿って演習を進める。内容は：</p> <p>1．Bool代数 2．真理値表と論理関数 3．最小項最大項など 4．論理関数の展開 5．論理関数の簡単化</p> <p>6．順序回路 7．順序回路の簡単化 8．フリップフロップ 9．順序回路の設計</p>

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業時間外の学習（予習・復習等）】
レポート課題を解き提出
【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】
毎回の演習の提出状況とレポート課題の提出状況を評価する。 提出状況が7割以上であることが、最低基準である。
【オフィスアワー：授業相談】
随時メールで相談すること
【学生へのメッセージ】
演習は講義内容をよく理解することが目的であるが、思考力を磨く良い機会である。積極的に取り組むことが将来のためになる。
【その他】
とくになし